

科目名	理学療法基礎評価学 I 演習	担当教員	小林巧※ 隈元庸夫※ ※印は実務経験のある教員を示す。
-----	----------------	------	-----------------------------------

開講専攻	分野	種別	配当年次	開講時期	単位数	授業形態
理学療法学専攻	専門科目	選択	2年次	前期	1単位	演習

科目概要	「理学療法基礎評価学 I」で学習したことを踏まえ、四肢・体幹全ての関節の関節可動域測定および徒手筋力検査法に基づく筋力測定の評価技術を身に付けることを目的とする。具体的には、教員によるデモンストレーション、学生同士による演習方式で実施し、「理学療法基礎評価学 I」で学んだ全ての関節可動域測定および徒手筋力検査法について適切かつ正確な測定が出来るように、実践を通じた学習を行い、臨床の現場で利用できる測定技術の基礎を身に付ける。
学習目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 評価の過程および全体の流れを理解することができる。 2. 関節可動域測定・徒手筋力測定を学生同士で実践することができる。 3. 関節可動域の制限因子、筋力低下の要因を理解することができる。 4. 関節可動域および筋力と ADL の関連を理解することができる。

回	項目	主な学習内容	到達目標	実務経験 教員担当 項目
1	関節可動域 1	股関節の関節可動域測定	股関節の可動域測定が実践できる。	小林
2	関節可動域 2	膝関節の関節可動域測定	膝関節の可動域測定が実践できる。	小林
3	関節可動域 3	足関節の関節可動域測定	足関節の可動域測定が実践できる。	小林
4	関節可動域 4	肩甲帯・肩関節の関節可動域測定	肩甲帯・肩関節の可動域測定が実践できる。	小林
5	関節可動域 5	肘・前腕・手関節の関節可動域測定	肘・前腕・手関節の可動域測定が実践できる。	小林
6	関節可動域 6	頸部の関節可動域測定	頸部の可動域測定が実践できる。	小林
7	関節可動域 7	体幹の関節可動域測定	体幹の可動域測定が実践できる。	小林
8	徒手筋力測定 1	股関節の徒手筋力測定	股関節の徒手筋力測定が実践できる。	隈元
9	徒手筋力測定 2	膝関節の徒手筋力測定	膝関節の徒手筋力測定が実践できる。	隈元
10	徒手筋力測定 3	足関節の徒手筋力測定	足関節の徒手筋力測定が実践できる。	隈元
11	徒手筋力測定 4	肩甲帯の徒手筋力測定	肩甲帯の徒手筋力測定が実践できる。	隈元
12	徒手筋力測定 5	肩関節の徒手筋力測定	肩関節の徒手筋力測定が実践できる。	隈元
13	徒手筋力測定 6	肘・手関節の徒手筋力測定	肘・手関節の徒手筋力測定が実践できる。	隈元
14	徒手筋力測定 7	頸部の徒手筋力測定	頸部の徒手筋力測定が実践できる。	隈元
15	徒手筋力測定 8	体幹の徒手筋力測定	体幹の徒手筋力測定が実践できる。	隈元

評価方法	実技試験(100%)
教科図書	隈元庸夫編集：臨床 ROM、ヒューマンプレス 伊藤俊一監修：MMT(頭部・頸部・上肢)第2版、三輪書店 伊藤俊一監修：MMT(体幹・下肢)第2版、三輪書店 松澤正（著）：理学療法評価学改訂第6版、金原出版
参考図書	津山直一・中村耕三（訳）：新・徒手筋力検査法、協同医書出版社 奈良勲・内山靖：理学療法検査・測定ガイド第2版、文光堂
学習の準備	事前に教科書の該当箇所を熟読しておくこと
オフィスアワー	在室時はいつでも可能
担当教員欄に※印を附した教員の 実務経験	隈元庸夫・小林巧は、民間病院で関節可動域測定・筋力測定における理学療法の実務経験を有しており、その経験を活かしてより実践的な指導をすることができる。